

東京蜘蛛

談話会通信

(2002年2月3日)

No.

104

編集：佐岡文雄 / 印刷：本紙・東京都豊島区光プリンター 付録・池田博明

1. 場 所 横浜・円海山

2. 日 時 最終回

2002年 2月 17日 (日)

■ ■ ■ 雪お構いなし

2001年度

「募集觀察会」

3. 集 合 J R 根岸線「港南台」駅 (横浜駅から約30分)

10:00

4. 交 通 バスター・ミナル3番乗り場から、45系統「洋光台駅」行き、
69系統「芹ヶ谷」行き、107系統「金沢文庫駅西口」行き、
111系統「上大岡駅」行きに乗り、
「港南環境センター前」下車、ひよどり団地入り口の坂道を上がって下さい。

5. 世話人

安田明雄

(Tel 045-934-9210)

kobato@gol.com)

2002年度 東京蜘蛛談話会総会・例会のお知らせ

1. 日 時 2002年4月21日 (日) 10:00~ (開場9:00)

2. 場 所 ソレイユさがみ セミナールーム2 (ピアレ6F)

〒229-1103 神奈川県相模原市橋本6-2-1

TEL 042-775-1775

2002年度総会と例会、その後の懇親会を予定しています。

3. 交 通 J R 橋本駅 (横浜線、相模線) 京王線橋本駅 下車すぐ
*車でお越しの場合、市営駐車場 (有料) をご利用下さい。

4. 発表方法 スライド映写機、ビデオプロジェクターも利用できます。
PPを使った発表も可能ですのでご相談ください。

同封のハガキにて、近況などを事務局・今井まで。近況は談話会通信に掲載します。また規約改正について、ご意見・ご提案がありましたらお書き添えお願いします。

表

裏

50	229-0038
相模原市星が丘	
1-5-5	
今井正巳 宛	

--	--

住所・氏名
例会に (出席・欠席)
講演題目 (有・無)
近況

2002年度 採集観察会

1. 場 所 千葉県市川市 小塚山公園・堀之内貝塚公園周辺

2. 日 時 第1回 5月12日(日) 雨天決行

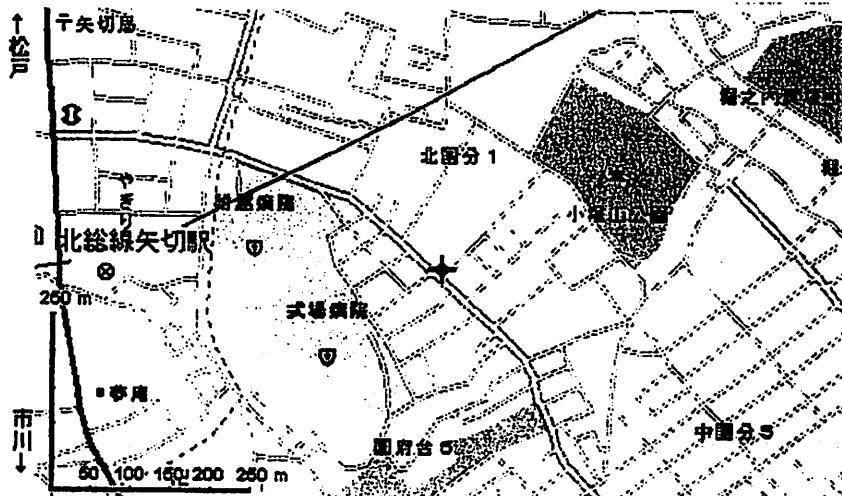
(第2回 7月7日、第3回 10月13日、第4回、2003年2月16日)

3. 集 合 北総公団線 矢切駅 10:30

4. 交 通
- ①都営浅草線・京成線方面からは高砂駅経由にて北総公団線（印旛日本医大または印西牧の原行き）矢切駅下車。
 - ②総武線市川駅下車京成バス利用「松戸車庫・松戸駅（矢切駅経由）」矢切駅下車。
 - ③常磐線松戸駅下車京成バス利用「市川駅（矢切駅経由）」矢切駅下車
 - ④武蔵野線東松戸乗り換え北総公団線矢切駅下車

※北総公団線は上下線とも約20分に1本の運行なので注意。

5. 世話人 加藤 輝代子 (TEL 047-373-3344 または 090-7012-6458)



2001年度 第3回 採集観察会 横浜市円海山

2001年10月14日(日) 晴

◎参加者(50音順、敬称略): 浅間 茂、今井正巳、小田島直子、小田島悠祐、加藤むつみ、木村知之、笹岡文雄、貞元己良、佐藤幸子、新海 明、高橋 登、谷川明男、土屋昌利、永井亜紀、新村誠、萩本房枝、萩本果南、初芝伸吾、初芝琢磨、村橋昌樹、村橋百代、安田明雄、八幡明彦、和仁道大(以上24名)

◎リスト

ジグモ科 ジグモ yF

トタテグモ科 カネコトタテグモ住 キシノウエトタテグモy キノボリトタテグモ住
ウズグモ科 オウギグモ FM カタハリウズグモy マネキグモy

タマゴグモ科 アカハネグモy

ヒメグモ科 アカイソウロウグモy アシプトヒメグモ Fy オオヒメグモ Fye

オナガグモ My カグヤヒメグモ Fe カニミジングモ F カレハヒメグモy

キベリミジングモy クロマルイソウロウグモ ye サトヒメグモy

シモフリミジングモy シロカネイソウロウグモ FMy チリイソウロウグモ Fye

ツクネグモ f ツリガネヒメグモy トビジロイソウロウグモy ニシキオニグモ F

ハラダカツクネグモ F ハラナガヒシガタグモ M ヒシガタグモy ヒメグモ Fe

フタオイソウロウグモ My ポカシミジングモy ムナボシヒネグモ Fy ヤリグモy

サラグモ科 クボミケシグモ my チビアカサラグモ M ユノハマサラグモy

センショウグモ科 センショウグモy

コガネグモ科 アオオニグモy オガタオニグモy オニグモy カラフトオニグモy

キザハシオニグモy ギンメッキゴミグモ f コガタコガネグモ F ゴミグモy

サガオニグモy シロゴミグモ M ナガコガネグモ F ハツリグモy マルゴミグモ Fy

ヤマゴミグモy ヤマジドヨウグモ F ヤマトカナエグモ my ヤマトゴミグモ F

ヨツデゴミグモ Mmy

アシナガグモ科 ウロコアシナガグモy オオシロカネグモ F コシロカネグモy

ジョロウグモ FM ヤサガタアシナガグモ M ヤマジドヨウグモ F

タナグモ科 アズマヤチグモ F クサグモ ye クロヤチグモ M コクサグモ F ヤチグモ M

キシダグモ科 アオグロハシリグモy イオウイロハシリグモ Fy

フクログモ科 カバキコマチグモy トビイロフクログモy ムナアカフクログモy

ヤハズフクログモy ヤマトコマチグモy

ウエムラグモ科 ウラシマグモ M

イヅツグモ科 イヅツグモ My

エビグモ科 アサヒエビグモy キハダエビグモy キンイロエビグモy シャコグモy

カニグモ科 アズチグモy ガザミグモy コハナグモy セマルトラフカニグモy

ハナグモ My ワカバグモy

ハエトリグモ科 アリグモ F ウデブトハエトリ f エキスハエトリ オスクロハエトリ y

カラスハエトリ y コジャバラハエトリ My タイリクアリグモ Fy デニツツハエトリ f

ヒメカラスハエトリ y マミジロハエトリ M ヤサアリグモ f ヨダンハエトリ f

(以上97種)

*日時：2001年12月2日（日）

*場所：神奈川県相模原市橋本・「ソレイユさがみ」セミナールーム2

1.閉会の挨拶 萱嶋 泉

2.講 演

- (1) 「小学生の蜘蛛意識について」 萱嶋 泉
課外授業を通して小学生の「クモ」に対する感じ方の変化を紹介
(OHP・参加小学生の「クモ」絵回覧)
- (2) 「スズミグモー斎調査の結果(2001)」 新海 明
スズミグモの全国調査の結果、調査空白地を今後どう埋めるか、また分布していないという情報も重要であった。
(スライド・レジメ)
- (3) 「「和漢三才図会」に書かれたクモについて」 高橋 登
和漢三才図会にはクモがいかに描かれ、紹介されているか。
(レジメ)
- (4) 「折り紙蜘蛛の世界における発生と進化」 八幡明彦
紙を使った造形の世界。新作折り紙・クモの折り方紹介
(パ'リ-ボ'イント発表)
- (5) 「ハエトリグモあれこれ」 池田博明
色々なハエトリグモの紹介
(スライド)
- (6) 「スキャナによるクモ画像の紹介」 吉井光
スキャナを利用したクモ画像の紹介。その解像力と難点について。
(パ'リ-ボ'イント発表・レジメ)
- (7) 「エクアドルのクモ類観察紀行」 谷川明男
エクアドル・熱帯から寒帯の垂直な国のクモについて紹介
(パ'リ-ボ'イント発表)

3.東京蜘蛛談話会規約についての意見交換

現在検討されている規約について、事務局による意見交換が行われました。条文の小修正の提案がありましたが、こちらは特に問題はありません。

「名誉会員」についての取り扱いについて問題点があり、2002年度総会にて再討議となります。3年越しの問題ですが、未だ解決を見ていません。

4.閉会の挨拶 梅林 力

参加者

浅間茂、新井浩司、池田博明、石島力、井出和美、今井正巳、梅林力、加藤輝代子、
加藤むつみ、萱嶋泉、木村知之、小峰光弘、笹岡文雄、貞元己良、佐藤幸子、鳴田順一、
新海明、高橋登、谷川明男、中島晴子、新村誠、萩本房枝、水野陽介、水山栄子、
安田明雄、八幡明彦、吉井光

(50音順：敬称略・27名)



談話会通信原稿宛先

170-0004

東京都豊島区北大塚3-12-21

笹岡文雄

同好会って何だ？！

「名誉会員」って何？、「会員」って何？

現在、東京蜘蛛談話会には一般・学生合わせて、200余名の会員がいます。入会を希望して会費さえ納めれば、身分に関係なく誰でも会員になります。

ところが1名会費を納めず、ある意味「会員」と呼ばれている方が1人います。この方は1997.4.20の総会議決で「名誉会員」になってもらった方です。この「名誉会員」とは会費を納めずに、他の会員と同等の権利を有します。そしてこの議決以後規約などその裏付はなく「名誉会員」は今に及んでいます。2000年度総会において新たに「名誉会員」推举に絡み、正式に規定を設けるかどうかという討議がなされました。

ところが現在“同好会には「名誉会員」はそぐわない”という意見が出て来ています。つまり同好会には「名誉会員」は必要ないということです。

では現在いるその1名の方はどうなるのでしょうか。同好会にはそぐわない上、規定がありませんから「名誉会員」は存在しなくなります。会費も納めていませんので、もちろん「会員」でもありません。一気に全てがなくなりゼロになるわけです。

つまりこちらでお願いしておきながら、今さら都合が悪くなったので資格を剥奪しますといっているのです。

また一方では「柔軟」に運営するということで会誌などの寄贈は続け、あくまで「名誉会員」は表面に出さない、つまり黙殺しておくという意見もあります。結果として「名誉会員」を認めないのでですから、根は同じ意見でしょう。

では何が問題なのでしょうか、それは会としての信義が問われているということです。会員に対する信義なくして会は成り立つかということです。

東京蜘蛛談話会は「同好会」です。“東京”と銘打っていますが、会員は北海道から沖縄まで、全国規模の200名を超えるクモの愛好団体です。

では同好会ってなんでしょう？同行の志が2人集まればもう同好会と言つていいかもしれません。もちろん200人でも2万人でも、人数に関係なく同好会です。確かに人数は関係ないのですが、2人と200人では同じではありません。

では何が違うのでしょうか。それは会の運営他なりません。狭い地域に居住する小人数でお互いに顔見知りの会と、会員が全国に散り顔も名前も知らない人たちがいる会が、同じ運営が出来るわけありません。

会員が増えていけばそれに合わせた運営の変革も必要になっていきます。それは堅苦しさや面倒なことをも比例して増やしていくことかもしれません。

しかしある程度の規約・規則の増加、細分化は避けられないものです。顔見知り通し同士が改札会の合間に調整しただけで済んでいたことが、正式に総会やら運営委員会にかけることになったら窮屈に感じることは人情でしょう。規則・規約に縛られると何も進まなくなる、進められなくなると思うのもわかります。ですがその為に会員に対する信義を果たせなくなるとしたら、それも仕方のないことだと思います。

繰り返しますが「柔軟」な運営とは何でしょうか。顔見知り同士適当に「なあなあ」「いいやいいや」運営でしょうか。誰もそうだという人はいません。談話会は観察会・例会など東京中心の活動になっていますので、直接活動に参加できる会員は限られてしまいます。同じ顔ぶればかりの会が、結果としてそうなってしまう恐れは常にあります。どんな小さな事でも説明すること、情報を開示することが求められます。一切の「なあなあ」は許されません。

東京蜘蛛談話会は「会員」の為にあります。いただいた「会費の出納」と「会員の身分」についてはどんな例外もなく、ないがしろには出来ません。少なくとも会の運営を司る者はすべての会員に対して、信義をつくさなければなりません。そしてまたすべての会員に対しての説明責任が付いて回ります。信義だけでなくキッチリ説明すること、また出来るような内容であることが求められるのではないでしょうか。

(文責：「通信」編集担当・笹岡)

近況つれづれ

2001年12月例会・出欠ハガキより

(1) 峯澤 渉 (神奈川県横浜市)

先日紅葉には早かったのですが、金沢文庫駅から鎌倉駅まで山歩きをしました。多くの蜘蛛を見かけたのですが、「フィールド図鑑」等を持っていなかったので、ながめるだけとなりました。いつも出かけた先で気づくのです。

(2) 岩田順一 (埼玉県飯能市)

4月の市議会議員選挙に当選し現在、やきとり屋と議員の2足?のワラジをはいて頑張っています。今年は久しぶりに例会に顔が出せそうです。なつかしい顔、新しい顔とお会いできることを楽しみにしています。

(3) 和仁道大 (千葉県千葉市)

今年は、わが家の狭い庭にジョロウグモの巣がいっぱいあります。

(4) 佐藤幸子 (神奈川県横浜市)

10月始めの頃、我が家の大分大きくなったナガコガネグモが網を張り、オンドバッタをたべていました。始めての事なので大よろこびでしたが、18日頃姿を消しました。餌が取れない場所なのでしょうネ。

(5) 東條 滉 (和歌山県海南市)

相も変わらず教育行政の仕事と和歌山のクモ調査で県内を走り回っております。

(6) 吉村紅鳥 (神奈川県相模原市)

十月の半ば頃なげしにコクサグモが居を構えた。始めてのことです。家の中に出でた小さな蛾を息子とつかまえては、その巣に投げ入れています。巣がよれよれになつていて、張りかえません。そのうち蛾をやれなくなったら外へ出していくだろうか。ハシリ蜘蛛指に飛びかかってきた そして不動

(7) 萱島 泉 (東京都日野市)

2000年度、2001年度 日野市立第5小学校の野外授業を受け持ちました。学校へは、週に1回のわりで行き、授業の打ち合わせをし、先生方と実地調査に黒川公園を授業の場とさせて行いました。先ず先生方を実地に観察して頂いて、クモの野外観察を行ってから生徒の指導をしました。生徒の真剣な態度に心打たれました。

(8) 貞元己良 (千葉県船橋市)

先日、家の風呂場で、フクログモの小さいものを採集!一見ムナアカフクログモの幼体。しかし、よく調べたらマダラフクログモの成体♀と判明。また今年も新しいクモが採れた。

(9) 熊田憲一 (三重県津市)

つい最近ネットタイユウレイグモを探集しました。これで、今住んでいる所では、ユウレイイ、イエユウレイ、オダカユウレイ、シモングモに次いで、ユウレイグモ科が5種になりました。

(10) 梅林 力 (東京都杉並区)

寒くなって、外に出る機会が減ってきましたが……。クモも減ってきて淋しいね。飼育中のものもいるけど、ワスレナグモも冬ごもりです。1988年から飼っているものの最後の1匹です。今年の元気さから見ると、来年初夏には、また顔を出してくれると思います。

(10) 小川 洋一郎 (東京都八王子市)

春先に購入したタランチュラの子供達三種類六匹。1cm程度だった子供達も脱皮不全もなくスクスクと成長してくれたので安堵しています。食が細くて気を使いましたが、段々と大人の色彩や体型に近づいてきて楽しみであります。

(11) 須藤昌子 (北海道留萌市)

早いもので2001年もあと1週間で終わります。アメリカでの同時多発テロをはじめ、よくないことがたくさんあった年でしたが、私とクモの関係は前向きで良好だったと思います。

収穫1 7月のクモ合宿に参加したこと。はじめてのクモに出会えたし、知り合いもできました勉強になりました。

収穫2 留萌で、はじめてのクモを何種か見たこと。カラスゴミグモ、キヨヒメグモ、シモフリミジングモ、ハシグロナンキングモ、カラカラグモ、ヨツコブヒメグモ、ジャバラハエトリグモなど。

収穫3 クモ発生にも豊作、平年作、不作があるらしいことがわかつたこと。昨年に比べると、今年はクモが少なかつた。その年の気温、雨量(北海道では降雪量も入る)などによって、発生数が左右されるのでしょうか。

*その他出席ハガキをいただいた方々

小沢実樹、新海明、高橋登、谷川明男、藤井靖浩、水野陽介

(順不同・敬称略・一部修文)

事務局により

◇会員異動 (2001年9~12月)

入会

津曲隆信: 〒039-2151 育森県上北郡下田町向山3320
村橋昌樹: 〒332-0031 埼玉県川口市青木2-9-22 川口青木パークホーミズ 202
長崎綠子: 〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1
吉井 光: 〒359-0041 埼玉県所沢市中新井3-20 A-1102
東京大学大学院農学生命科学研究科生物多様性科学研究室

住所変更

佐藤裕子: 〒160-0015 東京都新宿区大京町10-2-202
原田弘道: 〒668-0374 兵庫県出石郡但東町後153

(敬称略)

「談話会通信」(no.102-104)に文章など掲載させていただいた方々

★原稿

池田博明、高橋登、野崎文江、新海明

○近況掲載

石井幸子、須藤昌子、嶋田順一、小沢實樹、佐藤幸子、緒方清人、野崎文江、新村誠、
小川洋一郎、梅林力、萱島泉、徳本洋、小野展嗣、初芝伸吾、甲野涼、小笠原幸恵、
吉村紅鳥、峯澤渉、和仁道大、東条清、貞元己良、熊田憲一、千国安之輔

◇掲載切り抜き記事提供

新村誠、梅林力、須賀瑛文、小池牧子、河合安子、高橋登、福島彬人、池田泉、甲野涼、
八幡明彦

今年度もたくさんの原稿・切り抜きをありがとうございました。お送りいただいた原稿
は全て掲載させていただきました。切り抜き記事は紙面の関係上、掲載できなかつた物が
多数あります。後日何らかの形で紙面掲載できるように考えております。

「談話会通信」は会員のみなさまによって支えられております。今後もよろしくお願
いいたします。

(編)

東京蜘蛛談話会の会費は単年度 一般￥3,800、学生￥2,000です。次頁に掲
載の会費納入状況を確認の上、会費未納の方は下記の郵便振替口座へお願いします。

東京蜘蛛談話会

00170-8-74885

会費に関するお問い合わせは担当の安田まで。

226-0011 神奈川県横浜市緑区中山町329-1 中山駅前ハイツ1-506
安田明雄 (Tel 045-934-9210)

封筒の宛名ラベルにもみなさんの会費納入情報がついています。あわせてご確認ください。

ラベル表示例

000-0000
東京都○○区△△町0-0-0

大蜘蛛網太郎 様

2001年度まで会費受領

→ この位置に表示されています。

会費納入状況(2001年12月25日現在、敬称略)

- ◎1999年まで納入 井上孔伸 引田和明 久保田克哉 小池牧子 早乙女薰 長田佐智子
- ◎2000年まで納入 井原庸 吉田嗣郎 桑江司 原田弘道 高橋祐子 高津佳史 佐々木健志 佐々木勝實 坂寄廣 山田三重子 山本一博 新井弥生 新海栄一 新津紅 菅波洋平 西川喜朗 石島力 千田高史 池田千洋 池田泉 池田博明 牧孝匡 木村正吾 木藤幸雄 野戸章 藤沢庸助
- ◎2001年まで納入 芦田喜治 安田明雄 井出和美 井上尚武 井野文雄 磯部達男 永井均 横山和正 加村隆英 加藤むつみ 加藤輝代子 加藤七枝 貝発憲治 萱嶋志門 亀川宇多子 吉村紅鳥 吉田哉 吉澤美香 及川照代 宮下和喜 宮本美織 古沢笑子 後藤好正 工藤泰恵 甲守崇 荒金泰子 高橋登 高橋米夫 高田実 国見裕久 今井正巳 佐久間良三 佐々木智雄 佐藤裕子 佐藤和昭 斎藤博 笹岡文雄 山川守 山本一幸 山野忠清 守桂子 酒井理彦 秋元昇 秋山亜由子 小笠原幸恵 小川智行 小川敦央 小川洋一郎 小田島悠祐 松田まゆみ 松田久司 松田浩二 上田優子 新開孝 森要 須賀瑛文 須藤昌子 水山栄子 水野陽介 杉山明 斎藤慎一郎 石井幸子 川崎拓兵 泉宏子 浅間茂 船曳和代 前川隆敏 増原啓一 村橋昌樹 太田定浩 大河内哲二 大石洋人 大川秀治 大野正男 大利昌久 谷川明男 中野隆雄 長崎綠子 長島充 長島忠義 津久井晴信 鶴崎展巨 貞元己良 田中一裕 田中徳久 田副幸子 土屋昌利 唐沢良子 鳴田順一 東條清 鎌田忠雄 徳本洋 南部敏明 日下部光代 入江照雄 萩本房枝 畠守有紀 八幡明彦 板倉康弘 浜口哲一 浜村徹三 福島彬人 平野健一 米田宏 峯澤涉 本間征 本田重義 桁元敏也 木村徳宏 野嶋宏一 有田立身 林俊夫 林聰彦 林豊 鈴木勝浩 鈴木成生 和仁道大 鳩田篁祐 宮下直 西尾三枝子
- ◎2002年まで納入 安藤昭久 永井亜紀 塩崎哲哉 萱嶋泉 関口晃一 吉井光 吉田真 権田重雄 古浜隆 甲野涼 初芝伸吾 緒方清人 小川光昭 小峰光弘 小野展嗣 松本誠治 新井浩司 新村誠 石野田辰夫 赤羽尚夫 増田進 大久保光将 竹内慎 中島晴子 田中穂積 藤井靖浩 梅林力 伴満 北島博 木村知之 木庭奏 野崎文江 立川晴二 榛沢新
- ◎2003年まで納入 海老原憲昭 古内栄一 佐藤幸子 小澤實樹 谷田光弘 仲程悦子 浜岡史子 木村正明
- ◎2004年まで納入 笠原喜久雄 菊屋奈良義 津曲直子 津曲隆信
- ◎2005年まで納入 熊田憲一 布施佳子
- ◎2006年まで納入 原勝司 新海明

振込みをされてから担当者が確認するまで数日かかります。

ご不明な点は、会計担当の安田までお願いします。Tel:045-934-9210 E-mail:kobato@gol.com

「談話会通信」次号〆切は5月末日！！

それも船荷にまぎれて國内に侵入したとみられ、これまで日本には、

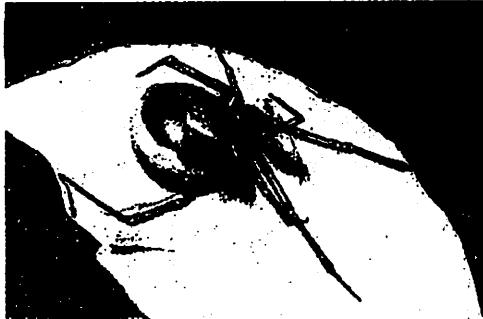
クモは世界で約四万種。あらゆる場所で生活し、人間にとりても身近な存在だ。だが、独特の姿から嫌われることが多い、アラクノフォビア（クモ恐怖症）という英単語もあるほど。そんな獣人に「あつわるいくつかの話」。

まん丸い背

中に浮かんだ
赤い模様。体

長はメスで約一センチオーストリアなどに生息する毒クモの一種、セアカゴケグモが大阪府の臨海部などで発見され、駆除騒ぎになつた。直後、横浜市のふ頭で同じ仲間のハイイロゴケグモも見つかった。い

騒動から 6 年



腹部の背にくっきりと浮かんだ
赤い模様が印象的なセアカゴケ
グモ（谷川明男さん提供）

神戸市西区で約千五百四のセアカゴケグモが見つかった。一ヵ所の確認数では過去最高。公園の側溝で繁殖していた。池田さんは「温度が高い都市の人工的環境が住みやすいのではないか。今後も臨海部から内陸へ拡大していく」と思う」という。人と毒クモの「共生」が始まつた。

温度高い都市へ侵入

今年八月、
夫」と池田さ

ほとんどのクモは毒を

うした毒クモの一つで、過剰反応があった」と、日本蜘蛛（くも）学会の池田博明さんは当時を振り返る。

「それまで日本には、致死性の毒を持つクモは一種もいなかつた。人間に害のある国内初のクモ

は、あるが一にして億病で、素手でつかみでもしない限りかまれない。

私が一かましても効果的な血滴があるから大丈夫」と池田さん。

ともに秋田魁
福島林



○2○

初。その後は九一年に東
京都、九九年埼玉県、昨
年は千葉県と、分布は北
ともに、分布拡大の背景
上、東進した。

を探った。

池田さんが顧問を務め
る神奈川県立足柄高校の
生物部は昨夏、同県大井
町で見つけたメスを約一
カ月間観察し、これまで
八〇年代には

「一九七〇年代には西
日本でしか見られなかっ
た南方系のスズミグモが
浜市で確認されたのが最

と「六一年

と「九〇年」の年

平均気温を比

温暖化で分布が北上

貧が今年三月、地球暖
化の影響についてまとめ
た報告書の記述だ。

スズミグモは体長二ミ
リほどで、赤や銀に彩ら
れた稻妻状の派手な模
様が特徴。雜木林に直
径一㍍を超えるドーム
状の網を張る。識別し
やすく、温暖化の指標
生物として重視されてい
る。

スズミグモの警告



糸のような細い糸で作った巣
に、長い足を広げてとまるスズ
ミグモ（谷川明男さん提供）

べると、東京で五・四度
も上昇。ほかの関東各地
も同じ傾向だった。地球
全体の温暖化に加え、局
地的な都市のヒートアイ
ランド現象の影響もいか
がわれた。

「走査の理由がデータ
で示された」と池田さん。

スズミグモの北上は、悲
鳴を上げる地球からの警
告だ。

01.11.7

聞 夕刊
さん提供

1ラ一



○ 30

が新たに掲載される。

「と判断し」日本的新記
「の中に、昔からよく
知られていながら、学名
を改められて新種として
見直しが一気に進んでい
るためだ。

谷川さんがインターネット
上で、六六年、ドイツ人研究者
がモンゴル産のクモと同
様の資料や標本を取り寄
せ、九十五年ぶりに別種
であることを証明した。

「昔は良い顕微

鏡もなく、海外

の標本との比較

も難しかった。同定の誤

りは結構ある。再吟味が

必要です」という。

世界的にクモの研究は
チョウや甲虫に比べて遅
れており、未知の種が数
多く残されている。日本
でもプロの研究者は極め
て少なく、研究は發展途
上だ。谷川さんは「庭の
クモが新種かも。だれで
も発見のチャンスがあ
る」という。

95年ぶりに別種証明

日本のクモ研究が活気
づいている。国内のクモ
を網羅した新
しい図鑑の刊
行計画が進行
中で、研究成果の整理
見直しが一気に進んでい
るためだ。

「図鑑の刊行は一九八
九年以來。研究者は今、
しりに火がついた状態で
す」と日本蜘蛛（くも）
学会の谷川明男さん。從
来の約千三百種に加え、
この十年あまりの間に発
見されて学名が付けられ
た「新種」と、世界的に
は既知種だが、日本へのの



迷彩服をまとったところの「
オニグモ（谷川明男さん提供）」

鏡もなく、海外
の標本との比較
も難しかった。同定の誤
りは結構ある。再吟味が
必要です」という。

世界的にクモの研究は
チョウや甲虫に比べて遅
れており、未知の種が数
多く残されている。日本
でもプロの研究者は極め
て少なく、研究は發展途
上だ。谷川さんは「庭の
クモが新種かも。だれで
も発見のチャンスがあ
る」という。

01.11.14

ともに秋田
福島

No. 104

付録2

原版



040

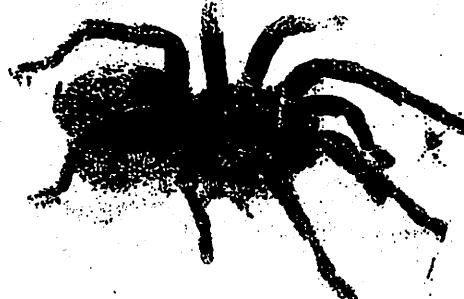
東京都内の高層マンション殖しながら、輸入代行やヨンの一室。六畳ほどの販売も手がけている。

大小三百以上
のアラスチッ

ク製容器が積み上げられ
ている。ふたを開ければ
毛に覆われた大きなクモ
が次々に姿を現す。恐ろ
しげだが、それだけ個性
的な色彩は美しくもある。

ペツトとして広がる

「世界各地から輸入し
たタランチュラが約五十
種います」と部屋の主、海
松櫻知朱(みるかし・ああ
き=ベンヌーム)さん。ク
モを「よない愛し」、自ら
タランチュラを飼育・繁



エサのコオロギ(右)を捕らえようとう
狙う「グリーンボトルブルー」という雌
種類のタランチュラ。体長約8㌢

過度に恐れられる。ただ、無害ではないから、
絶対に逃がさないのが飼
育者の責務です」
森林伐採などでタラン
チュラも減っている。海
松櫻さんは、輸入した野
生個体を飼育者の協力を
得て国内繁殖させてい
る。「自然への負担を極
力減らしたい」という思
いからだという。

一口にタランチュラと
言つても、世界には熱帯
と亜熱帯に約八百もの種
類があり、形態も生態も
多様。歐米では二十年以
前からペントリーアイ
ガリ、日本でも爱好者が
増えつつある。
がり、日本でも爱好者が
見せる」と海松櫻さんは
魅力を語る。
怖い毒アリの代名詞の
ようだが、意外にも、人
がかまれて死んで記録はな
いという。「毒アリは強くな
い。普段は静かだが、エ
サのコオロギを捕まえる
ときは俊敏で野性的の顔を

01.11.21

聞 夕刊
さん提供

ラー

父から息子へ伝える

一生は雄十二ヶ月、雌は十五ヶ月生き、四月～五月にかけ交接、遅まれた卵は六月はじめて孵化し、夏の間は幼体で過ごし秋口に亜成体のまま越冬。三月中旬頃、日覚めばかりの成体（パパ）を捉まえ

遊びがあるが、ハエトリグモを戦わせるのは東京湾沿いに広がっているだけだそうだ。

「ホンチ遊び」

ママ子で「ホンチ」を知らない子や、モグリだよ。こう語るのは「横浜ホンチ保存会」会長の佐藤芳夫さん（さとうよしお）だ。

組み合いで壯絶、時には優雅に戯れを繰り広げる。かつてママ子達の飼育を教えた伝統的な遊びである。

「ホンチ」は都会で比較的多いツバキ、マツリ

クモの雄の習性を利用了した遊び。

横浜でも昔は体長三五ミリの大物がいたが、今は一到位の、小振りの「ホンチ」しかいないようだ。バルサ材やボル紙で作った小さな籠で餌、餌は「ホンチ」より小さなハエやカを二～三日に一匹位与える。死んだ虫でも前の前に落すと飛びつく。

「ホンチ遊び」は東アジアの漁民がクモの行動で大漁を占つたのが元のようだ。沖縄ではクモが漁網の作り方を八割に教えたという言ふえもある程、クモ



机上での戯い

拳（第
一步脚）をV型に振り上げ、自分を大きく見せ相手を威嚇し、我ついに、

一枚自らの糸でよせ集め、地上三〇ヶ所から二三位一体の所を作る。

一生は雄十二ヶ月、雌は十五ヶ月生き、四月～五月にかけ交接、遅まれた卵は六月はじめて孵化し、夏の間は幼体で過ごし秋口に亜成体のまま越冬。三月中旬頃、日覚めばかりの成体（パパ）を捉まえ遊びがあるが、ハエトリグモを戦わせるのは東京湾沿いに広がっているだけだそうだ。



佐藤芳夫さん

横浜ホンチ保存会では今年も五月三日、JR線港南台駅九時三十分集合、市内でも自然が多く残っている円海山（一五三）で「ホンチ遊び」が行なわれる。「ホンチ遊び」に関する問い合わせは、

横浜ホンチ保存会
会長・佐藤芳夫さん

045-138-1

3245

横浜市営地下鉄沿線新聞

平13.4.21

新村誠さん提供

毒をもつて 毒を制す

オーストラリア

オーストラリア・シドニーの虫類公園で一日、ペットを使い毒グモから毒液を採取する女性。この公園は毒クモや毒ヘビがまれた人を救う血清をつくるため、クモやヘビの毒を供給する同園唯一の施設。 AFP時事



中日新聞 夕刊

01.10.6 須賀瑛文さん提供

クモを食べる習俗



19

しが、カニの甘いと
カニ味噌に似た味が
しておいしかったそ
うです。

クモ類は昆蟲の親戚筋の動物で、世界から三万五千種、日本から千種が記録されています。

一般には嫌われるものの代表的な存在ですが、昆蟲を主食とする國俗も世界的に数多く、食材としてもクモ類は人類にさりやかな貢献をしています。

クモやその糸を、食用や薬用にする國俗も世界的に数多く、食材としてもクモ類は人類にさりやかな貢献をしています。一方、クモやその糸を、食用や薬用にする國俗も世界的に数多く、食材としてもクモ類は人類にさりやかな貢献をしています。

クモの利用は、網を丸めて飲めば

嚙息(効く)（イギリス）、クモ

の体液を腫れ物に塗る（韓国）

などの記録が新旧どちら残せました

くさんあります。まくは昨年の

夏、中国の峨眉山(峨眉山)に並ぶ薬

草の露店で、シクモの地中の袋

状の巣を大量に売っているのを見

ました(写真1)。感じて飲

めば「糖價を下げ、糖尿病が治

るそうですが、これを含めてク

モ類の薬効も科学的には不明の

ケースがほとんどです。

ただ、クモ糸を止血に使う事

例がローマ時代から数多く、シ

エークスピアの「真夏の夜の夢」

にも「クモの糸君、私が指を怪

我(けが)したら遠慮なく世話を

にならまよ」というせりふが

クモを食べる習俗

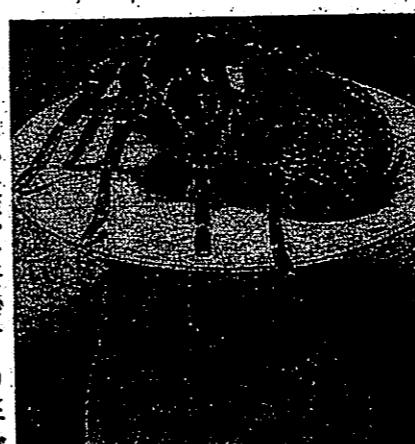


写真2「南米ギアナの先住民族が好んで食べる世界最大のクモ「トライアストリックイグモ」。体長約10cm、重量10g(八幡明彦氏提供)

梅谷 献二

では大型のジョロウクモの腹を生で食べ、オーストラリアやアフリカなど

にも大型のクモ類を美味なものとして食べる國族が多いと記録されています。

クモが嫌われる理由のひとつにその毒性があります。少なくとも日本にはそんな毒クモは皆無です。前述のトリックイグモの仲間は俗にタランチユラと呼ばれ、猛毒と信じられていますが、大きいだけながら命にかかる危険な種類もあります。

あるほどです。近年、クモ糸に血液の凝固物質があることが判明していますので、これは「迷信」から「実証」に昇格させてもらひかもしれません。南米では超大型のコロナバーストリックイグモ(写真2)が好みで食用にされ、食後には鋭いギバをほおこしてよみがれたりに使うとか。また、インドシナ半島でもやや小ぶりのトリックイグモが日常的に食べられ、その串焼きまだ売られています(写真3)。日本での仲間に詳しい八幡明彦氏の私信によれば、飼育中に元々個体を試食したと

あります。そんな毒クモは昔無です。前述のトリックイグモの仲間は俗にタランチユラと呼ばれ、猛毒と信じられていますが、大きいだけでも毒性は強く、野外で鳥やネズミを捕っていますが、大きいだけ

で毒性は強く、野外で鳥やネズ

ミを野食にしているところも

ウソです。

大々的なクモの食用化は大量

増殖が困難なため期待できませんが、とりあえず一度、庭のジ

ヨロウクモあたりを試食して感

想をお聞かせください。まぐ自

身ながらもクモだけは食べる気

がしませんので……。

(農林水産技術情報協会技術

文

化

クモが好きである。それ
がじうじて巣でアート作品
を作っている。画用紙に水
彩絵の具、ラッカーや油絵
の具などで絵を描き、そ
に網状の巣をのせる。クモ
は巣を見つけた場所、
私が書いた沖縄の森林な
どで描く。その場で受けた
印象から絵を発想するの
だ。例えば木漏れ日がま
しい日は画用紙に木の葉を
のせて緑や黒のラッカーを
吹き付けた。夕刻に出合つ
た巣のために紙に夜空の
ような群青を塗り、月を描
いた。穂のついたタンボボ
とエサを取る

クモが好きなり。されば
だれでもむかせ」と先生
方は温かく迎えて下さい
た。窓を作るのは全体の一〇%
の上でもうと吹いて穂を網
にくつけた。

※※♡
最初は「わいわいのぞく
クモを怖がる人は多いだ
ろう。私も二十年前までは
そうだった。変わったのは
当時小学校五年生だった良
男の、夏休みの宿題に付き
合つてからだ。自由研究で
クモを観察するから」に行
くと言い出した恩子に、「一
人では危ないと思つてつい
ていった。最初はこわご
わ、恩子の後ろからそっと
クモをのぞいていたが、知
識が増えるにつれて魅力を感
じるようになつた。

手段をこしりえてしまひ。
これほどリサイクル上手で
器用な生物もいまい。まだ
糸を上昇気流にのせて最長
四千五百尺も飛ぶといふ。
バルーンングと呼ばれる」

の飛行を初めて見た時はす
ばりしそうなるえた。土手
などコケの生えている場所
に穴を掘つて巣らすオオシ
マキムラガモがコケのフタ
を開けてひよと顔をのぞ

いためだ。この作業が済ん
だり、糸に毒いのりを塗つ
て巣に張り付ける。

※※♡
学会発表見て「できる」
五年前の大会で、クモの
巣を黒い画用紙にはつた標
本を発表した方がいた。目

にした瞬間、「これなら私
にもできる」と思った。一
般に、研究者はクモ本体を
標本にしても巣の標本はや

くとが多い。一度アート作品へ「発展」
させると失敗も多かった。
また、度は触れるほどア
ートとして皆に見てもうい
たくなつたのだ。

これまで七十点ほど完成
させた。平日は朝、出勤前に
浦添市にある自宅近く所を
観察し、土日は朝五時に起
きて夕方まで沖縄北部の森

林、山原(やんばる)を歩
き回る。一日に取れる巣は
十枚ほど。破つてしまつた
りもするので、実際にア
ートになるのは五枚ほどだ。
糸が少しだけ切れて後で修
正するものもある。

沖縄には本土にはない珍
しいクモもいる。例えば
体長五センチ、脚を伸ばした全
長は大人の手のひらより大
きくなるメスのオオシマ
ウケモ。糸も直徑二ミリを超
え、五、六匹のオス(こちら
らは体長一センチほど)かな
りもするので、実際にア
ートになるのは五枚ほどだ。
通り「居候」している。い

うつなるんだとおしかりを
受けたいともあるが、奥は
頻繁に張り替えるものな
で心配はない。それより嫌
われ者のクモへの関心を多
くの方々に持つてもいい感
覺の方が大きい。学会でも
そう奨励され、うれしかつ
た。それからといふもの、
アートを作る夢はあります
。まぶらんといふ。(なかほど
・えつこ)=会社員)

かせるのを見つ見した時は
「かわいい」と思わず声が
出た。

恩子がやめた後も私は趣
味としてしつこく観察を続
け、十数年前には日本クモ
学会に入会した。クモに関
する本は書店にはあまりな
いが、学会で情報が得られ
ると思ったのだ。年一回の
大会でのアカデミックな研
究発表はチソアカンカンブ
ンボボの穂(穂)を吹き付
けた筆者の作品

らない。三百七人のクモ学
会員の中で手掛けているの
は一人。きれいな状態の巣
を探し、破らないよう採取
するのは根気を要する作業
で、何人もが挑戦しては挫
折したと聞いた。でも、学
術的な難しい知識が必要な
ので私に向いている、と考
えた。

世界に三万五千種から四

程 悅 子

山原

◇沖縄の森林巡り集めた巣をアート作品に△



日本経済新聞

01.9.18

甲野涼さん、池田泉さん

提供

嫌われ者の隣人…

クモは世界で約四万種。森林や沙漠、人家の中まで、あるいは場所で生活し、人間にとっても身近な存在だ。だが、独特の姿が嫌われることが多く、アランノフオジア（クモ恐怖症）といふ英単語もあるほど。そんな隣人、にまつわるお話を。

まん丸い背中に浮かんだ赤い模様。体長はスベで約一センチ、おおよそその半分。そんな小さなクモが、日本中の大騒動を起したのは一九五五年の秋だった。オーストリアなどに生息する種の一種、セアカゴケグモが見つかった。一ヵ所のカゴケグモが大阪府の臨海部を発見され、駆除と戦闘が繰り広げた。人とモグラの戦いが、人との戦いとなる。

今年八月、神戸市西区で確認数は過去最高。公園部、九九年増玉興、昨年は千葉県と、分布は北上、東進した。

田さんは「温度が高い都市の人工環境が住みやすいのではないか」とではないか。今後も臨海部から内陸へ拡大していく。池田さんは「温度が西い都市進した。

池田さんが顧問を務めるミクモの生活を明らかにするとともに、分布拡大の背景には、これまで不明確だったズズミクモの生態が明らかになった。その後、横浜市での「共生」が始まった。景を採った。部屋たちは、新しい土地にクモが定着するための条件となる気温の上昇データを調べて驚いた。「一九七〇年代には西日本でしか見られなかった南件となる気温を比べると、東北は関東地方にも出現」。一年一五〇年」と六一年代と関東地方にも出現。

これまで日本では、致死性の病を持つクモが一種も見つかってこなかった。人間と害のある国内初のクモと、過剰な報道の配達だ。

それが日本では、致死性の病を持つクモが一種も見つかってこなかった。人間と害のある国内初のクモと、過剰な報道の配達だ。



この蜘蛛が印察的なセアカゴケグモ（谷川明美さん提供）

神奈川新聞 01.10.13 池田泉さん提供

00/11/01 14:15 (00/11/01-JF50)

時事通信 J-COM

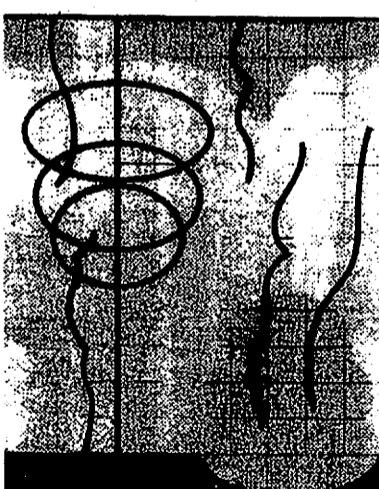
○クモの糸出す蚕、繭は蛍光＝遺伝子技術で“夢の絹糸”－中国

【上海1日時事】中国科学院上海生物化学・細胞生物学研究所はこのほど、遺伝子組み換え技術によって、クモの糸を吐き出す新しい蚕の研究・開発に成功したと発表した。しかも、この蚕がつくる繭（まゆ）は紫外線の下で蛍光を発するという。

クモの糸は自然界でも一番といつていいほど強度があり、一方、蚕の糸は切れやすいが大量生産が可能で、双方の良さを持った光る“夢の絹糸”的生産も可能になってきた。

上海の日刊紙・文匯報が1日、報じたところによると、同研究所の陸長徳氏らは1996年からクモの糸の遺伝子を蚕の受精卵の中に組み入れる研究に取り組み、そのプロセスを目で確認するため緑色の蛍光たんぱくを利用していた。その結果、偶然にも、クモの糸を出す蚕が生まれ、その繭は紫外線の下で緑色に光るという。

同研究所はこれについて、「驚くべき偶然」で、この糸を利用すれば、いろいろなものができそうだとしている。（了）



北村 良行「繭つりーーた」

クモ、くも、蜘蛛 岩坂 恵子（作家）

五歳のとき繭本で初めて見てから、五箇時代のあと不久織しそうになった体験を経て、大学に入り本郷へ戻ってきてやがて例の蜘蛛を見つけたので、そして「あんまり怖いから」、好きな馬メモしたカード作りと並行して蜘蛛のカードを作りだした。今まで興味津々で読んだ。

とくにひそむて、わたし自身は、いつもどうとか、かつてはたしかにかいつと筋肉が立ったものであるが、今はぎょっとして、もはや向こうあたたかく思つていい。年齢のせいかもしれない。

それはもう、蜘蛛は外人の生物学を立てるのである。これまでたとえうかうかのうかうかだったが、今はぎょっとして、もはや向こうあたたかく思つていい。年齢のせいかもしれない。

それはもう、蜘蛛は外人の生物学を立てるのである。これまでたとえうかうかのうかうかだったが、今はぎょっとして、もはや向こうあたたかく思つていい。年齢のせいかもしれない。

それはもう、蜘蛛は外人の生物学を立てるのである。これまでたとえうかうかのうかうかだったが、今はぎょっとして、もはや向こうあたたかく思つていい。年齢のせいかもしれない。

それはもう、蜘蛛は外人の生物学を立てるのである。これまでたとえうかうかのうかうかだったが、今はぎょっとして、もはや向こうあたたかく思つていい。年齢のせいかもしれない。

それはもう、蜘蛛は外人の生物学を立てるのである。これまでたとえうかうかのうかうかだったが、今はぎょっとして、もはや向こうあたたかく思つていい。年齢のせいかもしれない。

それはもう、蜘蛛は外人の生物学を立てるのである。これまでたとえうかうかのうかうかだったが、今はぎょっとして、もはや向こうあたたかく思つていい。年齢のせいかもしれない。

それはもう、蜘蛛は外人の生物学を立てるのである。これまでたとえうかうかのうかうかだったが、今はぎょっとして、もはや向こうあたたかく思つていい。年齢のせいかもしれない。

それはもう、蜘蛛は外人の生物学を立てるのである。これまでたとえうかうかのうかうかだったが、今はぎょっとして、もはや向こうあたたかく思つていい。年齢のせいかもしれない。

それはもう、蜘蛛は外人の生物学を立てるのである。これまでたとえうかうかのうかうかだったが、今はぎょっとして、もはや向こうあたたかく思つていい。年齢のせいかもしれない。

それはもう、蜘蛛は外人の生物学を立てるのである。これまでたとえうかうかのうかうかだったが、今はぎょっとして、もはや向こうあたたかく思つていい。年齢のせいかもしれない。